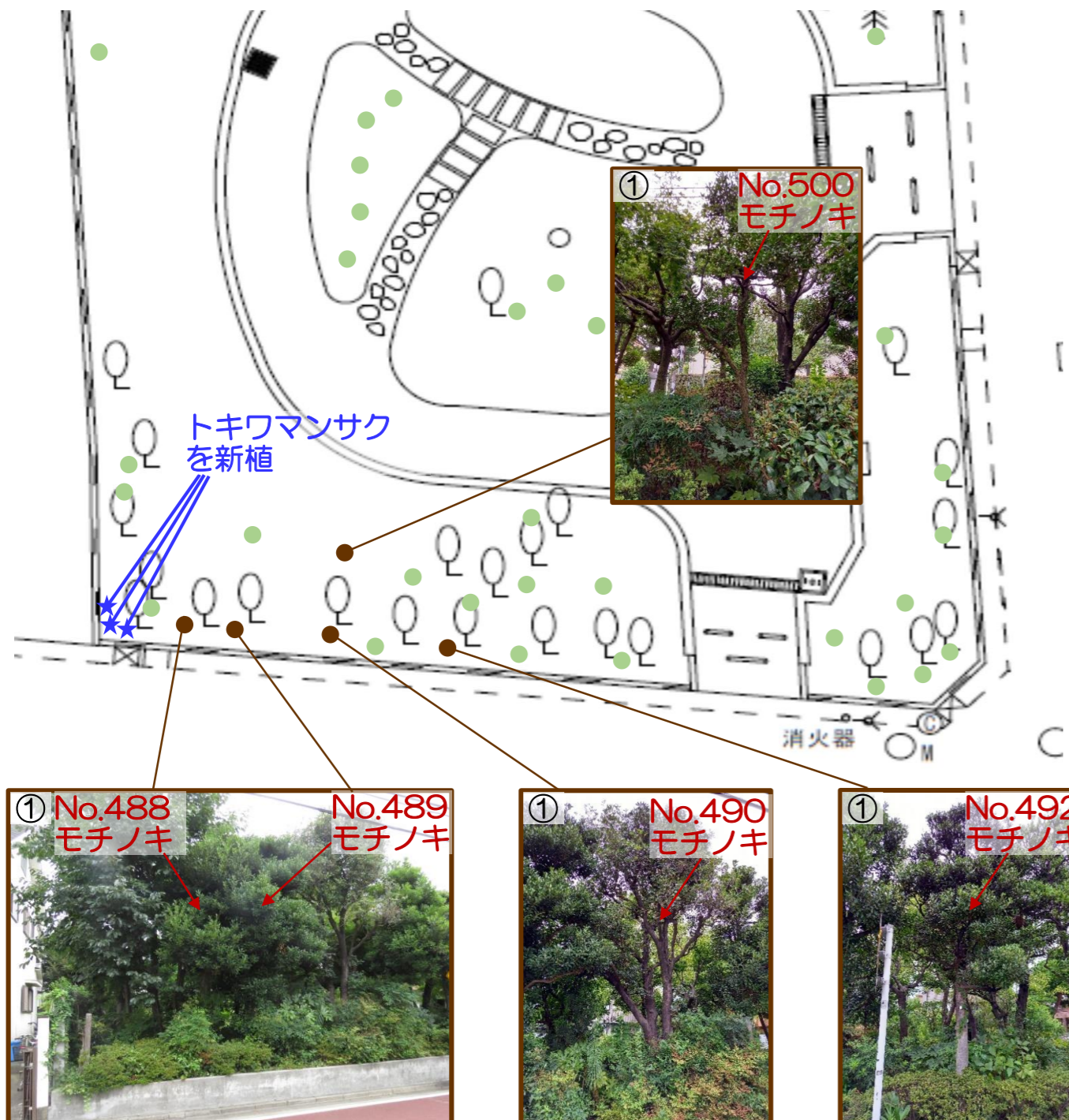


今後の取り組みの予定

目黒区では、碑文谷公園内の自然環境に関する様々な問題に対し、地域の皆さまと連携しながら保全・回復を目指す「碑文谷公園生物多様性保全林事業」を進めています。

これまで、地域の皆さまと合同で、現地調査会を1回、意見交換会を4回行いました。また、意見交換会などで話し合われたことを踏まえ、自然環境の保全・回復に向けた様々な取り組みを行いました。本ニュースレターでは、令和4年度～5年度の取り組みの概要を報告するとともに、今後の予定についてお伝えします。



令和4年度～5年度の取り組みの概要と今後の予定



【意見交換等】

- 現地調査会（令和4年7月16日）
- 意見交換会（第1回：令和4年9月3日、第2回：令和4年10月15日、第3回：令和5年6月4日、第4回：令和5年7月23日、第5回：令和5年12月（予定））

【自然環境の保全・回復作業】

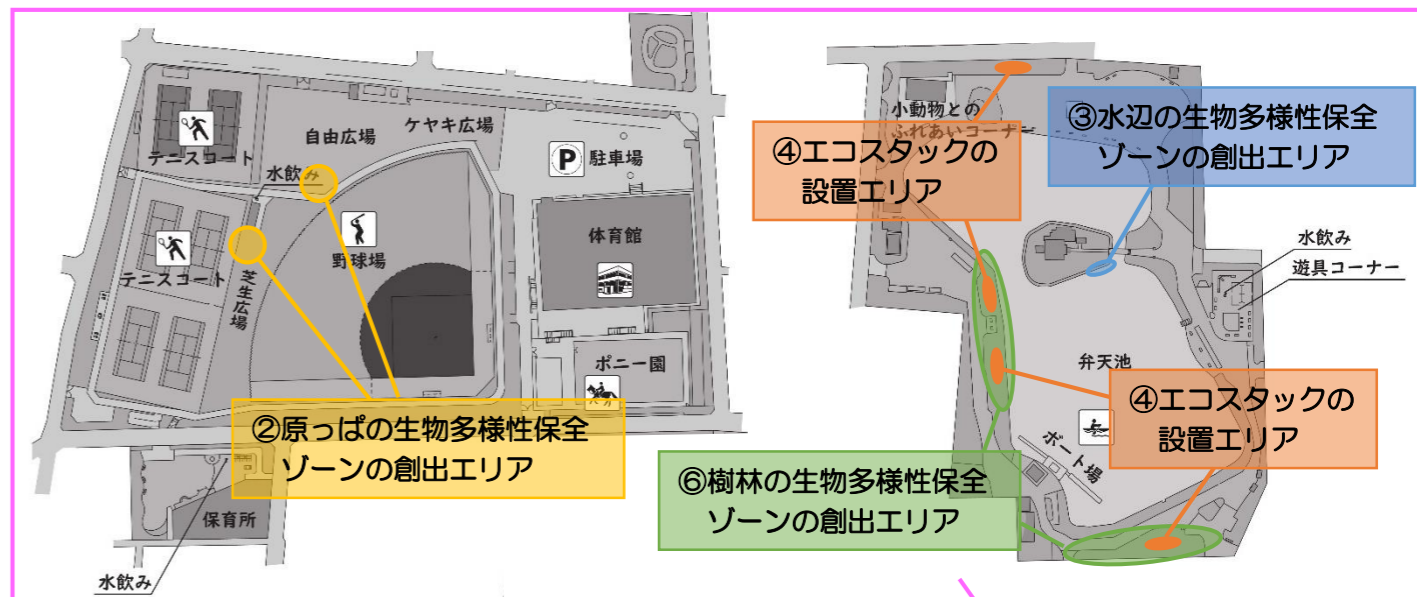
- ①-1 地域の合意が得られた樹木の間引き（令和4年度分）
- ①-2 樹木間引き後の新植（令和4年度分）※鷹番小学校90周年記念植樹
- ② 原っぱの生物多様性保全ゾーン（草丈が異なる草地）の創出
- ③ 水辺の生物多様性保全ゾーン（浅場）の創出
- ④ エコスタック（石積・丸太積・粗朶積・ヤシマット）の設置
- ⑤-1 地域の合意が得られた樹木の間引き（令和5年度分）
- ⑤-2 樹木間引き後の新植（令和5年度分）
- ⑥ 樹林の生物多様性保全ゾーン（階層構造のある樹林）の創出
- ⑦ 生物多様性保全林普及啓発看板の設置

実施済

今後の予定（p.2～4参照）

■拡張部（北側）

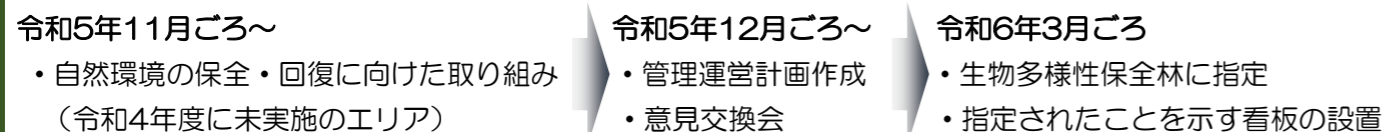
■既存部（南側）



①・⑤ 樹木を間引きし、間引き後に新植するエリア（全域）

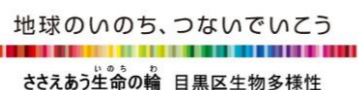
⑦ 生物多様性保全林普及啓発看板の設置エリアは検討中

今後のスケジュールについて



地域の皆さまの意見を反映し、ともに碑文谷公園の多様な自然環境の保全・回復を目指していきます。

目黒区都市整備部みどり土木政策課みどりの係 西尾・角田
 TEL：03-5722-9359 FAX：03-3792-2112
 Email：midoridoboku09@city.meguro.tokyo.jp



令和5年11月ごろに間引く樹木とその後の新植の方針

既存部（南側）、花の小公園において、弱っている樹木や弱っていくリスクがある樹木、強風で倒れるリスクがある樹木、害虫が発生している樹木、階層構造が生まれるように間引く樹木のうち、地域の合意が得られたものについては、令和5年11月ごろに間引き作業を行います。

また、既存部（南側）、拡張部（北側）、花の小公園において、令和4年度以降に樹木を間引いた場所に樹木を新植します。

■既存部（南側） ※p.2~3参照

【間引く樹木】

区分	本数
① 弱っている、又は弱っていくリスクがある樹木	6本
② 強風で倒れるリスクがある樹木	2本
③ 害虫が発生している樹木	3本
④ 樹木の階層構造が生まれるように間引く樹木	5本

【間引いた後の新植樹木】

- ★ サクラ類×5本
- ★ その他樹木×5本
- 〰️ その他生垣×1カ所
- 草本・低木類×80株程度

■拡張部（北側）

- 【間引く樹木】
なし
- 【間引いた後の新植樹木】
〰️ その他生垣×2カ所

カナメモチ
を新植（生垣）

■花の小公園 ※p.4参照

【間引く樹木】

区分	本数
① 弱っている、又は弱っていくリスクがある樹木	5本

- 【間引いた後の新植樹木】
★ その他樹木×3本

■既存部（南側）



新植樹木の例

トキワマンサク



カナメモチ類



サクラ（オモイガワ）



サクラ（センダイシダレ）



画像提供：公益財団法人日本花の会
※桜の画像の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。
無断転載を禁止します。